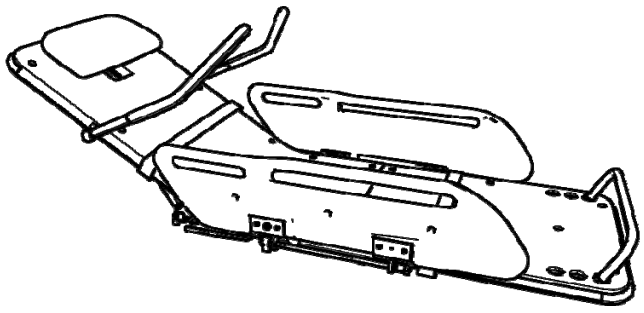
SAKAImed

エレベートバス用（CET-100）用

担　架

EWS－100

取 扱 説 明 書



ご使用になる前に …… 2
- 安全上のご注意 …… 2
- 各部の名称 …… 6
- 始業点検について …… 7
- 組み合わせ …… 9

操作方法 …… 10
- 安全ベルト …… 10
- サイドフェンス …… 11
- 手すり …… 12
- リクライニング …… 13
- スライド式枕 …… 14
- 足当て …… 15
- マットの脱着 …… 16
- 担架への移乗作業 …… 17
- 洗髪・洗身作業 …… 17
- 浴槽⇔ストレッチャー間の移動 …… 18

日常のお手入れ …… 20
- 清掃 …… 20

このようなときは …… 21

機器について …… 22
- 保守・点検 …… 22
- 保証とアフターサービス …… 22
- 仕様 …… 24

●このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

●「取扱説明書」は
・１部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・１部を保存用として、大切に保管してください。

01-195②Q3

用 途

本製品は、当社浴槽『エレベートバス』(CET-100)専用の担架です。
高さ調節式ストレッチャー（EST-100）と組み合わせて使用します。

特 長

●サイドフェンスと手すりを標準装備。

大型のサイドフェンスと手すりを装備し、サイドフェンスは二重ロック付きで移動や移乗、側臥位での洗身も安心です。

●入浴者の方が安心して入浴できる、安全配慮設計です。

・担架の脱落防止機能

（ストレッチャー上の担架は、浴槽にストレッチャーを連結させないと担架をスライドさせることが出来ないように安全装置を備えています。）

●入浴者の身体に合った快適な入浴ができます。

・背もたれのリクライニング

・幅の広いスライド式枕

・調節式足当て

ご使用になる前に

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

表示について

危険や損害の程度を以下に区分し、表示しています。

⚠ 危険	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負うことに至る」**ことを示しています。
⚠ 警告	取り扱いを誤ると、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**ことを示しています。
⚠ 注意	取り扱いを誤ると、**「傷害または物的損害の発生が想定される」**ことを示しています。

絵表示の意味

禁止	行為を禁止することを示した表示です。
強制	必ず実行していただくことを示した表示です。

ベルト・マット・枕

⚠警告

担架に入浴者を乗せたら、2 本の安全ベルトを装着すること

- 入浴者が動いて担架から落下したり、足がはみ出して挟み込まれる恐れがあります。
- 浮力により腰の位置がずれて、水没する恐れがあります。

安全ベルトは、入浴者の体格に合せて長さを調節すること

- 身体がずれて担架から落下する恐れがあります。
- ベルトやバックルに皮膚が擦れてけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れないこと

体位変換や移乗の際に外した場合、入浴者が落下する恐れがあります。とっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。

体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

⚠注意

安全ベルトの損傷に注意すること

ほころび始めたり、切れかかってきたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。

担架マットの損傷に注意すること

- 古くなって破れたり、マット止めピンがマットから浮き出してきたら、新しいものと交換してください。マット止めピンの浮き出した部分で、入浴者がけがをする恐れがあります。
- マット止めピンの取り外しの際は、スナップボタン外しを使用し、１つずつゆっくりと行ってください。
- 高温により変形する恐れがありますので、当社推奨の清掃方法（P.20）以外の方法で清掃を行なわないでください。

担架マットは、日陰干しにて乾燥すること

直射日光で乾燥させると劣化します。

入浴時は枕を装着し、固定用ノブを締めること

枕の固定用ノブの鎖が機器に絡む恐れがあります。

入浴作業前に全てのマット止めピンが確実に取り付けられていることを確認すること

完全に取り付いていないと、マット止めピンがマットから浮き出し、入浴者がけがをする恐れがあります。また、入浴中にマットが外れる恐れがあります。

サイドフェンス、手すり、足当て

⚠警告

入浴者を担架に移乗させたら、サイドフェンスを起こしてロック確認すること

サイドフェンスのロックが不十分だと、入浴者が落下する恐れがあります。

⚠注意

サイドフェンスを操作するときは入浴者の手足の状態に注意すること

サイドフェンスと担架フレームの隙間に入浴者の手足の指先が入っている状態で、サイドフェンスを操作すると、指が挟まり、けがをする恐れがあります。

入浴者を担架に乗せたら、手すりを握らせ肘を内側に入れること

手すりを握っていないと、上肢が担架の外側に出て、けがをする恐れがあります。
握れない場合は、上肢を保持するベルトなどを使用し、上肢が担架の外側に出ないようにしてください。

手すりを下ろす前に、サイドフェンス上に手や腕がないことを確認すること

サイドフェンス上に入浴者の手や腕が乗っている状態で、手すりを勢いよく下ろすと、入浴者の身体が挟まり、けがをする恐れがあります。

足当ては、取り付け穴にしっかり奥まで差し込むこと

足当ての差し込みが不十分の場合、外れる恐れがあります。

背もたれのリクライニング

⚠警告

背もたれを倒すときは、ゆっくりと操作し、最後まで手を離さないこと

勢いよく倒したり、途中で手を離すと入浴者が頭を強打し危険です。また手足を挟むなどけがをする恐れがあります。機器を破損する恐れもあります。

リクライニングするときは、入浴者の状態に注意すること

サイドフェンスや担架フレームとの間に、入浴者の手などが挟まれ、けがをする恐れがあります。

背もたれがロックされていることを確認すること

手動で背もたれを起こしたときは、しっかりとロックされていることを確認してください。

担架の浴槽内⇔ストレッチャー間の移動

⚠警告

担架を移動する時は、ストレッチャーを上限まで上昇させること

ストレッチャーと浴槽のレールの高さが合っていないと、担架の移動時に担架が脱落する恐れがあります。

担架のロック解除レバーは、浴槽とストレッチャーの連結を確認するまで操作しないこと

連結が不十分な場合、担架が落下する恐れがあります。

担架の移動は、最後まで手を添えた状態でゆっくりと行うこと

移動中に手を離すとロック時の衝撃が強く、入浴者に不安感を与えてしまいます。
繰り返し勢いよく担架を押すと、担架が破損し落下事故の原因になります。

担架を移動させ始めたら、担架ロック解除レバーから指を離すこと

レバーを引いたまま移動させると、担架が正規の位置でロックされず脱落する恐れがあります。

浴槽またはストレッチャーにロックした後は、担架を押し引きしてロックを確認すること

担架がロックされていない状態でストレッチャーを切り離すと、担架が脱落する恐れがあります。

介助者の手の挟み込みに注意すること

担架をストレッチャーまたは浴槽へ移動する際には、担架脚部の裏側に手を入れないでください。手が挟まれけがをする恐れがあります。

担架上の作業

⚠警告

担架上で入浴者の姿勢を変えるときは、手足の指の状態に注意すること

手足が拘縮や麻痺で変形している人は、担架フレームとサイドフェンスの間に指が入ってしまう可能性があります。隙間に入ったまま姿勢を変えると、けがをする恐れがあります。

担架上での移乗・洗髪・洗身作業時は、入浴者の落下に注意すること

- 担架上での体位変換作業は、作業の反対側のサイドフェンスを起こしたまま行ってください。
- 安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから離れないでください。

その他

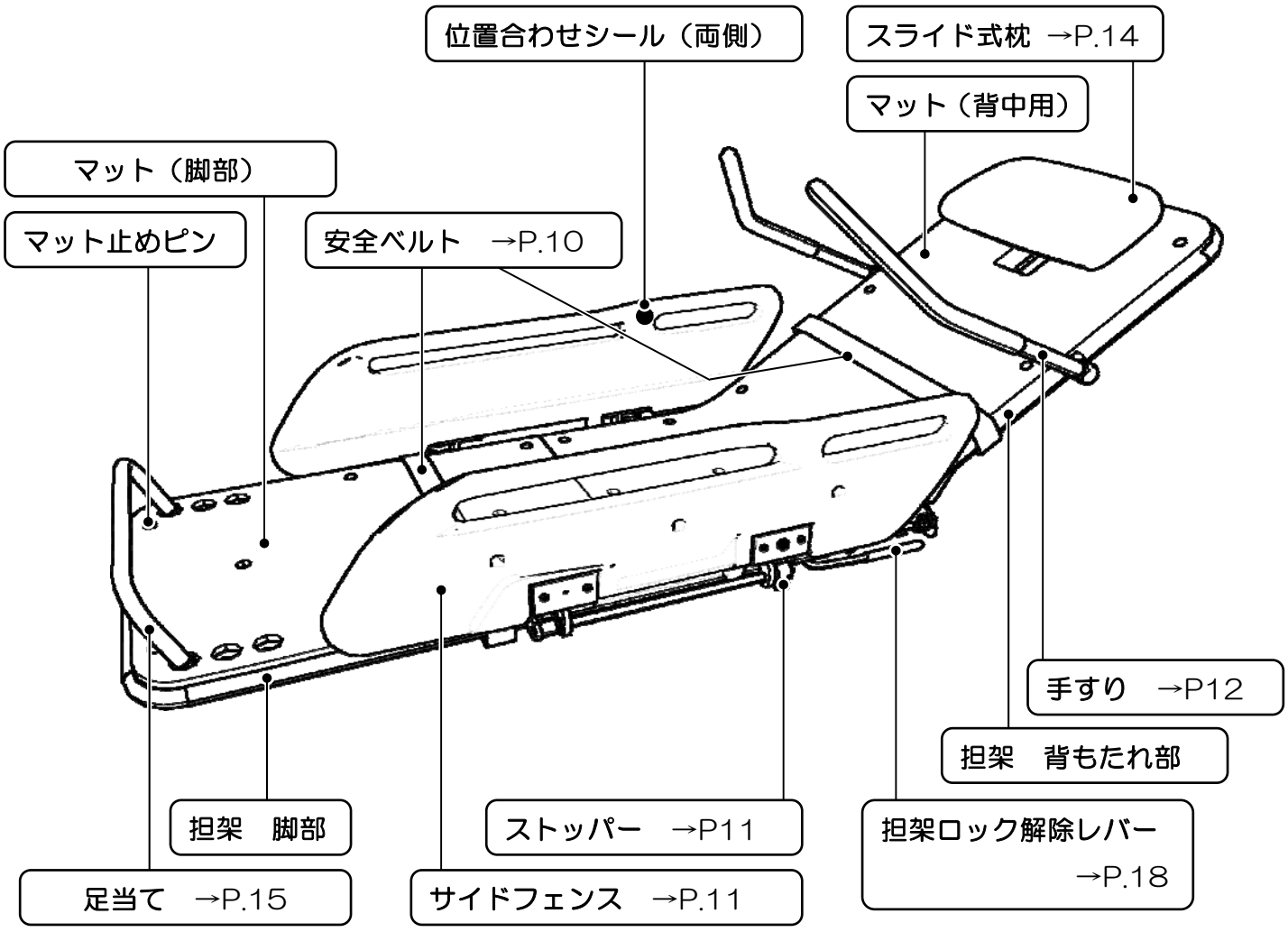
⚠注意

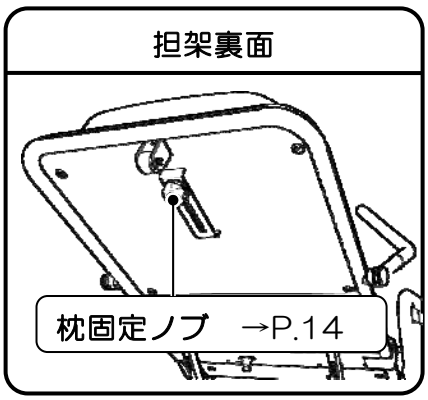
次亜塩素酸ナトリウムを担架に直接かけないこと

- 脱色、変色、破損の原因になる恐れがあります。

ご使用になる前に

各部の名称

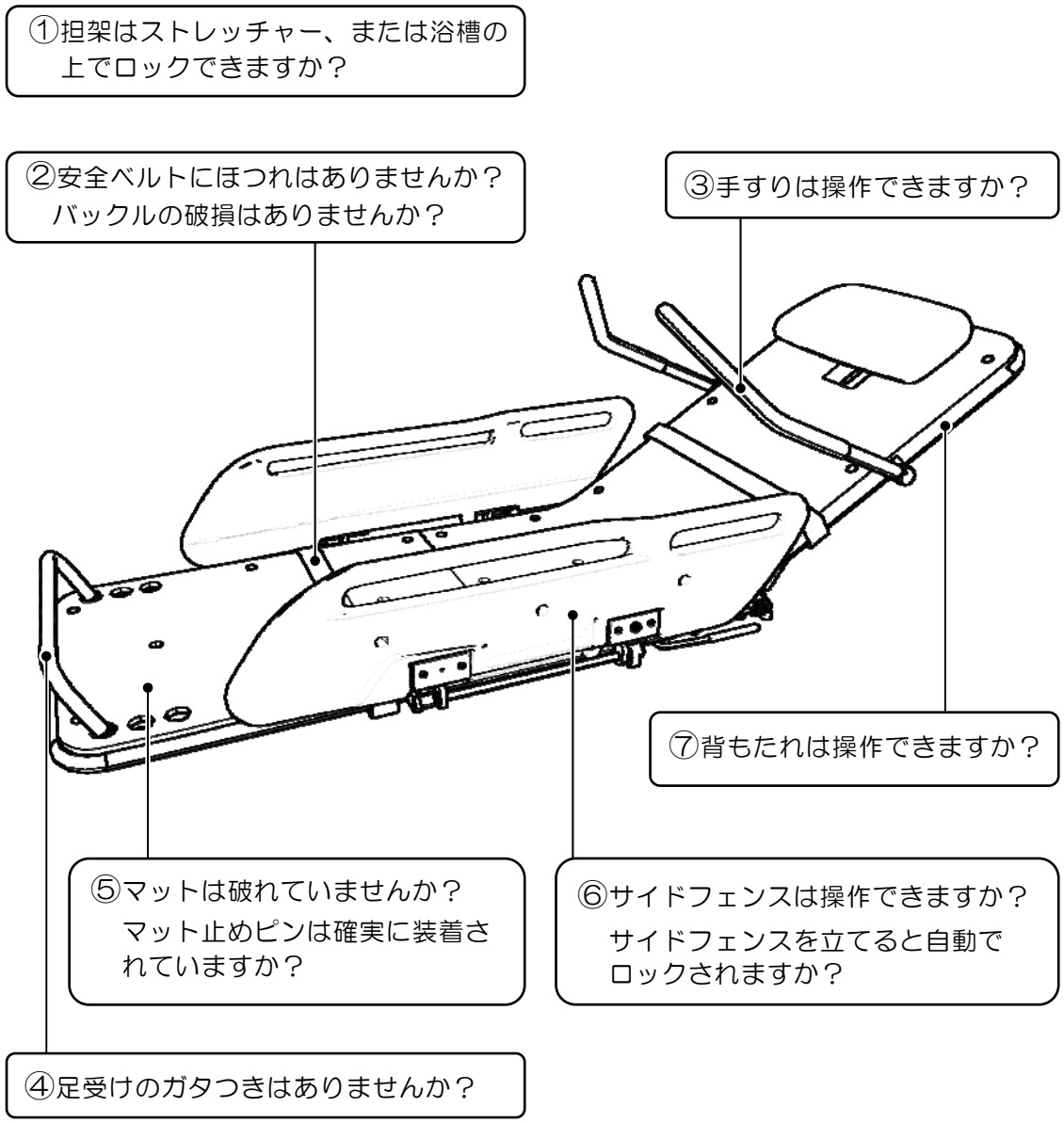




ご使用になる前に

始業点検について

ご使用前に下記の始業点検項目にもとづき、始業点検を実施してください。



点検の際は、本ページをコピーしてご使用ください

始業点検チェックリスト：エレベートバス用担架（EWS-100） 点検日　　年　　月　　日

項目	点検内容	点検方法	チェック	備考
①	ストレッチャー上での担架ロックの確認	1. 担架が載ったストレッチャーを浴槽へ連結 2. 担架ロック解除レバーを引いたまま担架を 20 ㎝程度スライド 3. 担架ロック解除レバーから手を離し、担架を元の位置にスライドさせてロック 4. 担架を前後に押し引きしてロックが外れないか確認	□ OK・□ NG	
②	安全ベルトのほつれ バックルの破損	目視	□ OK・□ NG	
③	手すりの操作	1. 手すりを上げ下げできることを確認	□ OK・□ NG	(P.12 参照)
④	足受けのガタつき	目視	□ OK・□ NG	
⑤	マットの破れ マット止めピン	目視		
⑥	サイドフェンスの操作	1. ストッパーを解除し、サイドフェンスを倒す 2. サイドフェンスを起こし、自動でロックされることを確認	□ OK・□ NG	(P.11 参照)
⑦	リクライニングのロック	1. 背もたれを持ち上げてロックさせ、上から少し力を加えてロックが外れないか確認 2. 背もたれを最後まで持ち上げてロックを解除し、背もたれが倒せることを確認	□ OK・□ NG	(P.13 参照)

またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。
尚、故障中は故障した機器を誤って使用しないように、周囲の方が分かるように表示（故障中の貼り紙等）をお貼りください。

ご使用になる前に

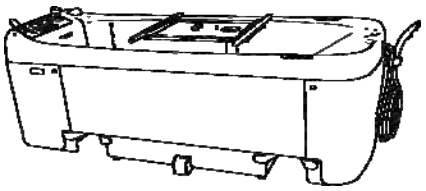
組み合わせ

本製品は、当社浴槽『エレベートバス』（CET-100）専用の担架で、専用の高さ調節式ストレッチャー（EST-100）に載せて移動します。

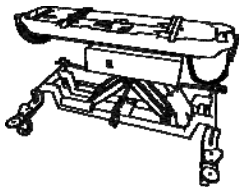
必ず専用の浴槽・高さ調節式ストレッチャーと組み合わせてご使用ください。

周辺装置（別売り）

浴槽　・・・CET-100



高さ調節式ストレッチャー　・・・EST-100



操作方法については、各々の取扱説明書をご覧ください。

高さ調節式ストレッチャー⇔浴槽間の担架の移動に関する詳細事項は、
浴槽の取扱説明書「入出浴作業」をご覧ください。

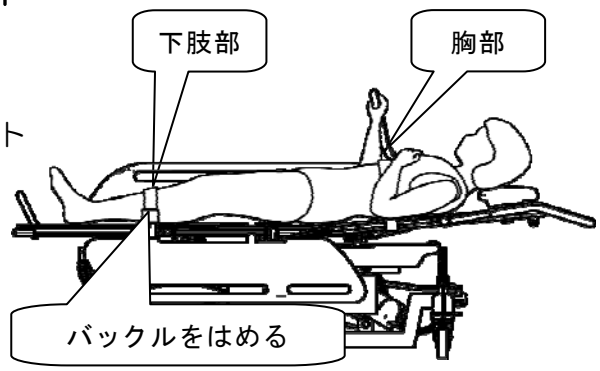
操作方法

安全ベルト

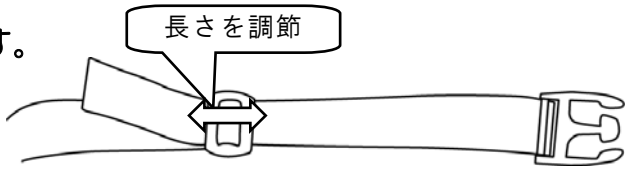
装着

1. 担架へ入浴者を移乗させたら、安全ベルトのバックルをはめます。

・胸部（1 か所）と下肢部（1 か所）のベルトを装着してください。



2. 入浴者に合わせて長さを調節します。

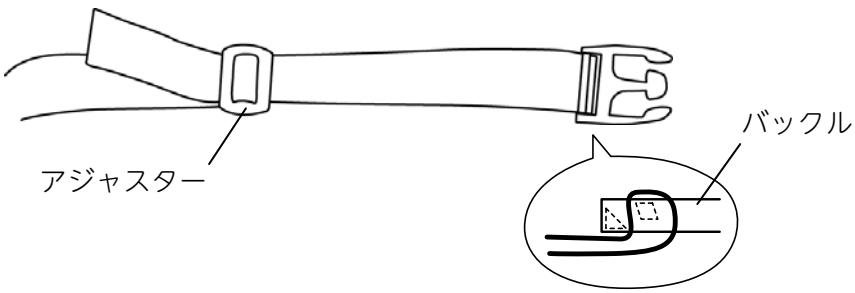


⚠ 警告　・担架に入浴者を乗せたら、2本の安全ベルトを装着すること
・安全ベルトは、入浴者の体格に合せて長さを調節すること
・安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れないこと

⚠注意　　安全ベルトの損傷に注意すること

取り付け

ベルト（長）の取り付けは、片側をアジャスターに通してから、
バックルに図のように通し、アジャスターで留めます。



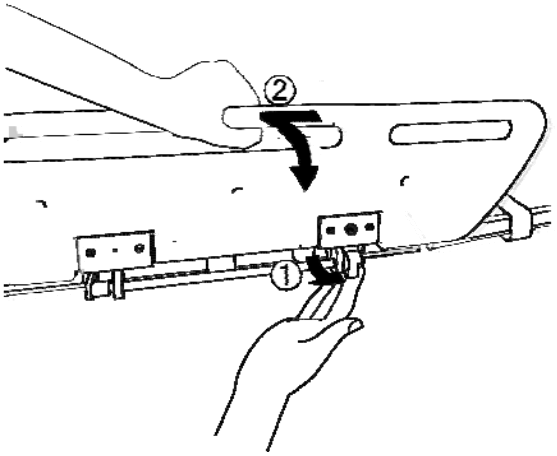
操作方法

サイドフェンス

倒す

1. ストッパー下側を手前に引きます。

2. ストッパーを引いたまま、サイドフェンスを入浴者の足側へスライドさせ、手前に倒します。



起こす

起こすと自動的にロックされます。

⚠警告　担架に入浴者を乗せたらサイドフェンスを起こして、ロックを確認すること

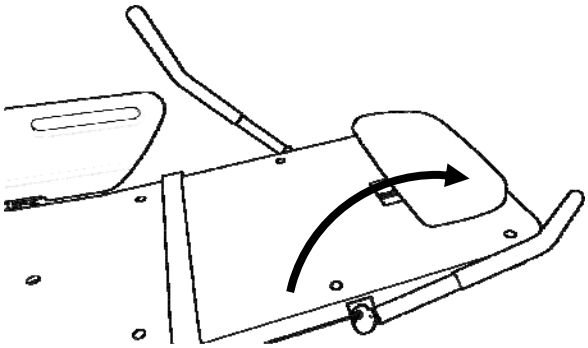
⚠注意　・サイドフェンスを操作するときは、入浴者の手足の状態に注意すること
・サイドフェンスをトランスファーボードとして使用しない

操作方法

手すり

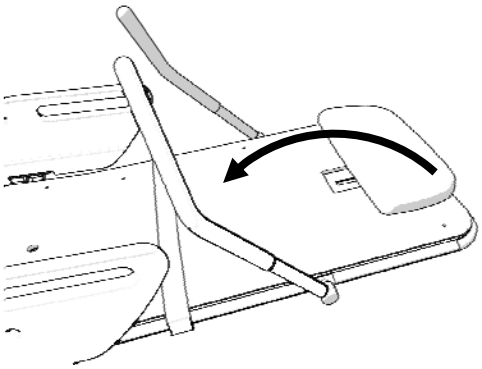
跳ね上げ

グリップを持ち、枕側に跳ね上げます。



下ろす

グリップを持ち、手すりを下ろします。



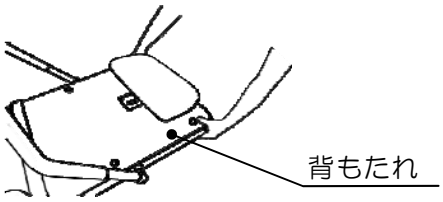
⚠注意　手すりを下ろす前に、サイドフェンス上に手や腕がないことを確認すること

操作方法

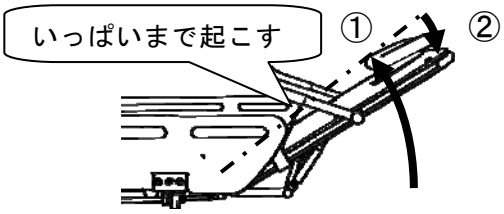
リクライニング

起こす

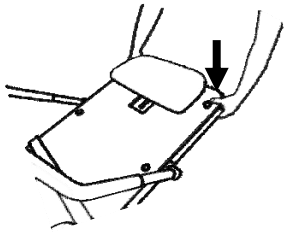
1. 頭部側の側面を持って、背もたれを起こします。



2. いっぱいに起こした後に少し戻すとロックされます。



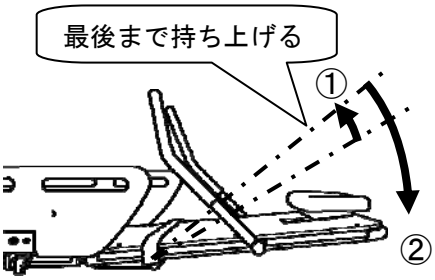
3. 背もたれに上から少し重さをかけて、確実にロックされているか確認します。



> ⚠警告　・背もたれがロックされていることを確認すること
>
> ・入浴者の状態に注意すること

倒す

頭部側の側面を持って、最後まで持ち上げてロックを解除し、そのままゆっくり下ろします。



> ⚠警告　背もたれを倒すときは、ゆっくりと操作し最後まで手を離さないこと

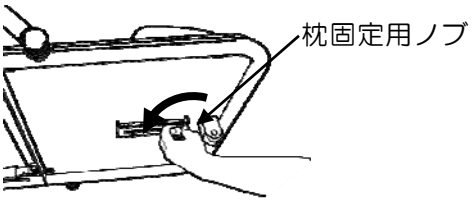
・背もたれの角度は起こした状態で約３３度、倒した状態で５度です。
・背もたれを倒して入浴すると、浴槽の昇降に連動して自動的に背もたれが起きます。

操作方法

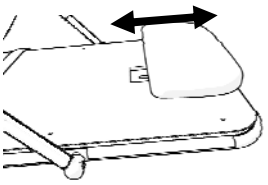
スライド式枕

位置調節

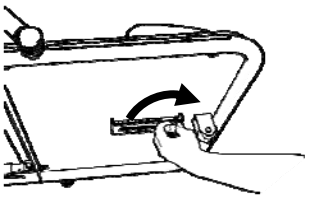
1. 背もたれ裏側の枕の固定用ノブを緩めます。



2. 入浴者の頭の位置に合せて、枕の位置を調節します。

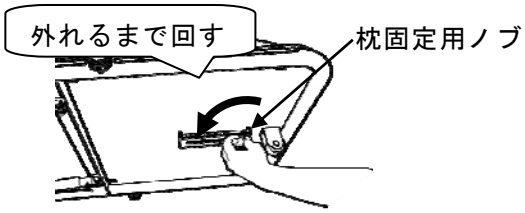


3. 位置を決めたら固定用ノブを締め、枕を固定します。

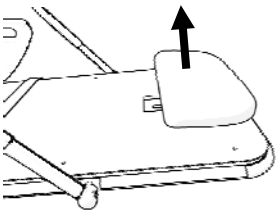


脱着

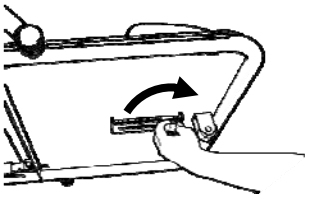
1. 枕の固定用ノブは、鎖で担架に固定されていますので、ノブが外れるまで回してください。



2. 枕を取り外します。



3. 洗浄後は、枕を背もたれに載せ、固定用ノブを締め固定します。



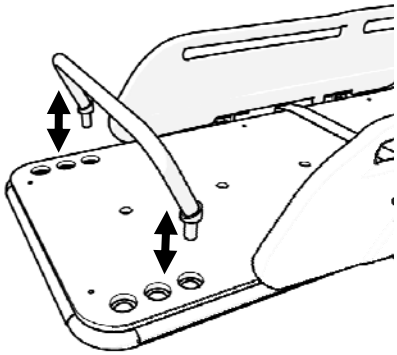
⚠注意　入浴時は枕を装着し、固定用ノブを締めること

操作方法

足当て

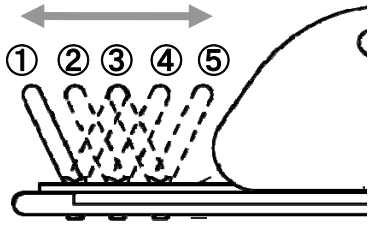
位置調節

1. 足当ては、引き抜いて取り外します。



2. 入浴者の足先の位置に合わせて、差し込みます。

足当ては、3か所穴位置と足当ての向きを
変えることで5段階に調節できます。



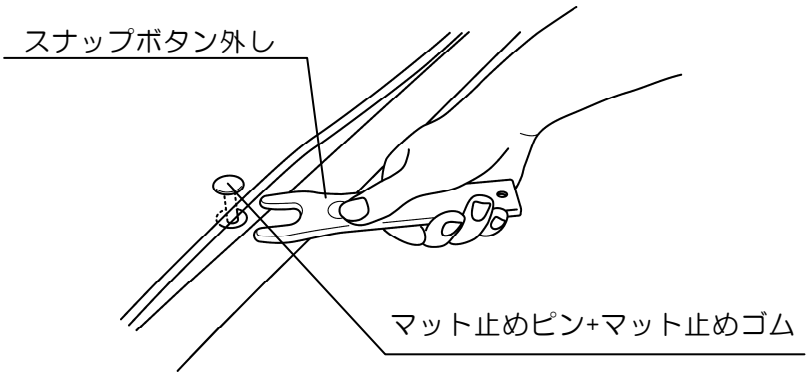
⚠注意　足当ては、取り付け穴にしっかり奥まで差し込むこと

操作方法

マットの脱着

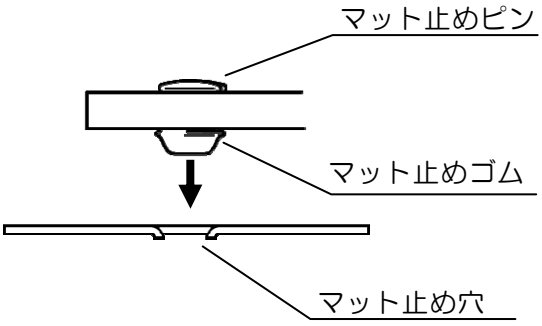
外す

マットの端を軽く持ち上げ、付属のスナップボタン外しをマットの下に差し込むとマット止めピンが外れます。



着ける

1. マットを担架カバーに乗せて、マット止めの穴とマット固定ゴムが合っていることを確認します。



2. マットの表面からマット止めゴムを押して、穴にしっかり差し込みます。

マットのマット止めゴムが入りにくい場合、
マット裏面のマット止めゴム、又は担架のマット止め穴を水で濡らすと入りやすくなります。

⚠注意　・担架マットの損傷に注意すること
・入浴作業前に全てのマット止めピンが確実に取り付けられていることを確認すること

操作方法

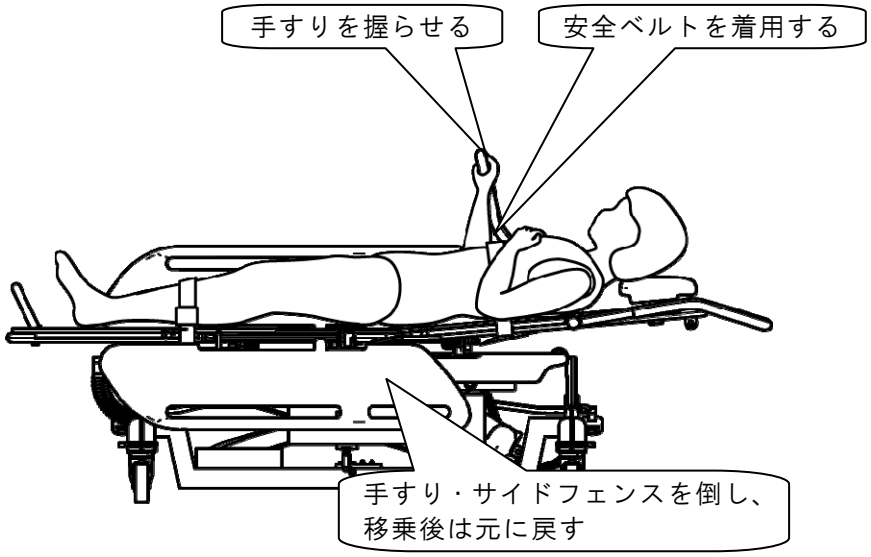
担架への移乗作業

1. 移乗は背もたれを倒した状態で行います。

2. 手すりを跳ね上げ、サイドフェンスを倒します。移乗と反対側の手すりは、起こしたままにして入浴者の転倒・落下に注意しながら作業をします。

3. 移乗後は、安全のため２本の安全ベルトを着用します。

4. サイドフェンス・手すりを元に戻し、肘を手すりの内側に入れます。



⚠注意　　入浴者を担架に乗せたら、手すりを握らせ肘を内側に入れること

洗髪･洗身作業

●担架上で体位変換を行う場合は、必ず介助の反対側のサイドフェンスを起こし、手すりを倒した状態にし、入浴者の落下等に注意しながら作業してください。

●安全ベルトを洗身作業等で外した場合は、入浴者から目を離さないでください。作業が終了したら、速やかに安全ベルトを装着してください。

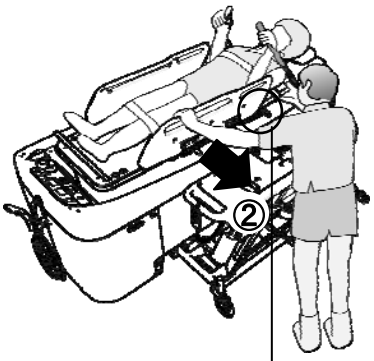
⚠警告　・担架上で入浴姿勢を変えるときは、手足の指の状態に注意すること
・担架上での移乗・洗髪・洗身作業時は、入浴者の落下に注意すること

操作方法

浴槽⇔ストレッチャー間の移動

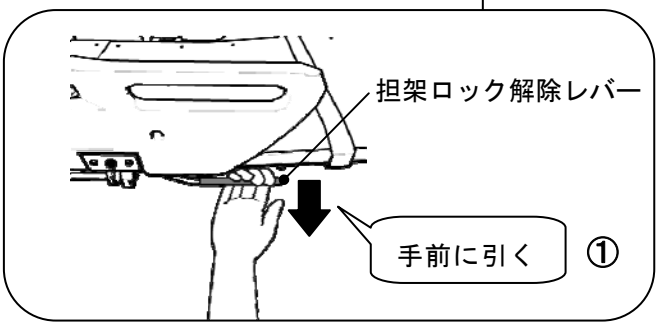
入浴する際は、担架を高さ調節式ストレッチャーから浴槽、または浴槽から高さ調節式ストレッチャーへ移動させます。

1. 担架のロック解除レバーを握りロックを解除後、担架をストレッチャー上にゆっくりと戻します。



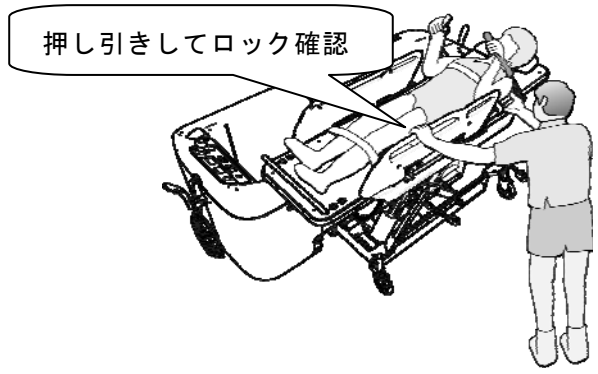
ご注意

担架のロック解除時は、担架を手前に引く力を加えながら操作するとロックが外れにくくなる場合があります。



⚠ 警告
- **担架を移動させ始めたら、必ず担架ロック解除レバーから指を離すこと**
- **担架のロック解除レバーは、浴槽とストレッチャーの連結を確認するまで操作しないこと**

2. 移動後、担架がストレッチャーにロックされていることを確認します。



⚠警告　・担架を浴槽内に移動しロックした後は、押し引きしてロックを確認すること
・担架の移動は、最後まで手を添えてゆっくりと行うこと
・担架を移動させるときは、高さ調節式ストレッチャーの上限にあること、浴槽の連結完了ランプが点灯していることを確認すること

⚠注意　・担架を移動させるときは、介助者の手指等の挟み込みに注意するとこ

ご注意

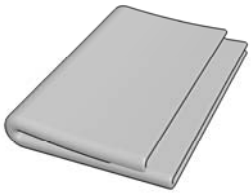
・担架をストレッチャーから浴槽側へ移動後、再びストレッチャーへ戻す際は、安全のため、同じ方向（担架を送り出した側）しか、担架を移動することができません。

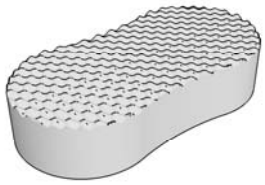
・担架の移動に関する詳細事項は、浴槽取扱説明書の「入出浴作業」をご覧ください。

日常のお手入れ

清掃

1. スライド式枕、担架マット、ベルトを取り外し、やわらかい布、または、やわらかいスポンジに浴室用洗剤を含ませ、汚れを落としてください。





推奨品：酒井医療㈱「浴槽クリーナ A」

お願い

・洗剤をかけたまま放置しないでください。
・強くこすらないでください。キズの原因になります。

⚠注意　・タワシやブラシは使わないこと
・研磨材がついたスポンジや、ネットに包まれたスポンジは使わないこと

2. フレーム、担架マット、ベルトについている泡をシャワーで十分洗い流します。

⚠注意　担架マットは、高温により変形する恐れあり

お願い

・泡が残っているとカビが発生しやすくなります。
・お湯で洗い流した場合、最後は水で洗い流してください。

3. 乾いた布で水滴を軽く拭き、担架マットは、表面に水が残らないように立てかけて、日陰干しにて乾燥させます。

⚠注意　担架マットは日陰干しにて乾燥すること

お願い

・水滴を残すと水垢などが残り、くすみの原因となります。

このようなときは

まずは、次の内容を確認していただき、なお異常があるときは最寄りの営業所までご連絡ください。

	このようなときは	ここを確認してください	参照ページ
枕	枕の位置調節ができない	●**枕の固定用ノブを緩めましたか？** →固定用ノブを緩めてから、枕の位置を調節してください。	P.14
	枕が外せない	●**枕の固定用ノブが完全に外れていますか？** →最後まで回してノブを取り外してから、枕を外してください。	P.14
サイドフェンス	サイドフェンスが倒せない	●**ストッパーを引いていますか？** →ストッパーを引いてから、サイドフェンスを入浴者の足側にスライドさせ、手前に倒してください。	P.11
背もたれ	背もたれを起こした位置で固定できない 背もたれが倒せない	●**背もたれをいっぱいまで上げていますか？** →背もたれをいっぱいまで上げてから、ゆっくり下ろしてください。	P.13
担架ロック解除レバー	浴槽上で担架ロック解除レバーを引いても担架が移動しない	●**担架を浴槽に移動する際に使用した担架ロック解除レバーの逆側のレバーを操作していませんか？** →担架脱落防止のため、担架を送り出した側しか、担架を移動することができない機構になっています。	P.18
マット	マットが外れてしまう	●**マット止めピンが穴にしっかり差し込まれていますか？** →すべてのマット止めピンを完全に差し込んでください。 ●**マット固定ゴムが損傷していませんか？** →損傷している場合は、最寄りの営業所にご連絡ください。	P.16

・その他、ご不明な点につきましては最寄りの営業所にご相談ください。
・ご使用中万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

機器について

保守・点検

・本製品を使用する際は、機器の管理者の方が P.7～8 の点検項目に基づき、必ず始業点検（日常点検）を実施してください。
・長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
・点検時に異常が発見された場合は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
・清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

● 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは別添の「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、最寄りの弊社営業所へお問い合わせください。

保証とアフターサービス

保証書と保証期間

- 保証書（別添）は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。保証書がないと保証期間中でも有償修理とさせていただく場合があります。
- 保証期間は 1 年です。但しフレームは 5 年間です。保証の規定につきましては保証書をご覧ください。

修理をご依頼いただく場合

・修理をご依頼いただく場合は、下記のことをお知らせください。

機種名　　：　*EWS-100*
お買い上げ：　　年　月　日
故障状況（できるだけ詳細に）
住所、氏名、電話番号

・メーカーより指示のあるとき以外は、機器を分解しないでください。

機器について

耐用期間

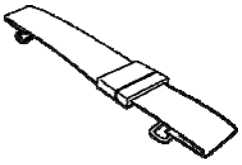
10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

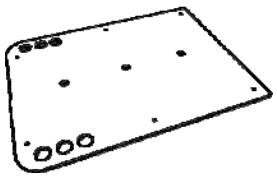
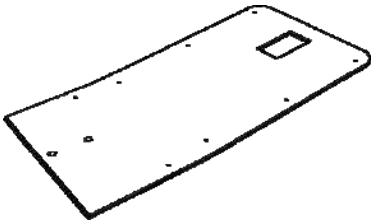
保守用性能部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

損耗品　（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

・正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

ベルト	スライド式枕
	

マット止めゴム	マット（脚用）	マット（背中用）
		

損耗品の交換時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

機器について

仕様

型　　式		ＥＷＳ―１００
外形寸法		１８０７（L）×５９９（W）×２６１（H）mm
質　　量		約４５kg
最大搭乗質量 （入浴者）		１００kg
材質	フレーム	ステンレス
	担架面	ステンレス
	手すり	ステンレス・プラスチック（PVC）
	サイドフェンス	プラスチック（PP）
	マット	プラスチック（EVA スポンジ）
その他		安全ベルト２か所
付属品		スナップボタン外し（マット外しフォーク）

注．都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。